

# The 25th JUACEP Seminar

第25回名古屋大学日米協働教育プログラムセミナー

## ‘グローバル化時代の アメリカ理工系大学院留学’ ～対象：理工系の学生 言語：日本語～

講師：倉林活夫 教授

ミシガン大学工学部機械工学科

電気工学・コンピューターサイエンス科

略歴：1992年東京大学工学部精密工学科卒。1994年スタンフォード大学材料科学部修士号、1998年同大学Ph.D.取得。その後スタンフォード大学研究員を経て、2000年1月よりミシガン大学に赴任。現在の研究テーマは、生体・医療・環境分野の先端計測マイクロ・ナノデバイス及びナノプラズモニックバイオセンサーの開発と基礎研究。こうした研究分野で5つの米国特許取得と100本以上の論文・著書執筆。2001年米国科学財団（NSF）Early Faculty Career Development（CAREER）賞、2005年ロバート・キャデル記念賞、2007年Pi Tau Sigma 最優秀教授賞、2013年ミシガン大学機械工学最優秀研究達成賞受賞。

日時：2015年2月20日（金）10:00～11:30

場所：ES 021 講義室（ES 総合館）

「グローバル化」、この言葉は近年多くの分野で耳にします。世界はITや物流技術の発達により、ますますフラット化し、資本は次の有望なマーケットを狙い世界を駆け巡ります。こうした状況の中、国外の大学ではグローバル化の波を受け、人材は世界的に流動しています。これからの皆さんの将来のキャリアを考えた時に、世界で通用し活躍する理系人材になるにはどうすればよいでしょうか。その選択肢の一つが、米国大学院留学です。このセミナーは、倉林教授のスタンフォード大学留学の経験と、ミシガン大学で教鞭を執られている経験から、米国の大学院での学位取得と将来のキャリアパスなどをお話しいたします。また学生の皆さんからの留学に関するフランクな質問も歓迎します。

問合せ：工学研究科 世界展開力強化事業事務局（内 2799）